

広報つるおか特集号

平成29年度

# 鶴岡市予算特集



田川保育園児の「なし団子ならし」

## 新年度予算について

鶴岡市長 榎本政規

### はじめに

市長に就任して以来、「鶴岡ルネサンス宣言」を市政の基本方針とし、「総合計画後期基本計画」の中で鶴岡の未来を創造する成長戦略に位置付け、それに基づく取り組みを本市の中核的取り組みとして推進してきました。

平成29年度の市政運営についても、引き続き市民・地域・行政の協調・協力による総合力を発揮しながら、総合計画の着実な推進と不断の行財政改革に取り組み、施策、事業の重点化を図ります。

少子化・人口減少対策については27年度に策定した「まち・ひと・しごと創生総合戦略」を基本に、各種取り組みを展開してきました。しかし少子化・人口減少に関する課題については一朝一夕に解決することは難しく、粘り強く継続して取り組んでいくことが肝要と考えています。

新年度予算でも少子化対策とともに、移住定住の促進や雇用の創出、小さな拠点の形成をはじめとした地域づくり等、多くの人口減少対策を盛り込み、本市の長期的重要課題として、しっかりと取り組んでいきます。

この広報では予算編成の基本的な考え方や予算の概要を説明します。

## 29年度予算編成の基本的な考え方

### (一) 次期総合計画の策定

本市の行政運営の基本となる総合計画について、計画期間が平成30年度までとなっているため、29年度に次期総合計画の策定作業に着手します。

社会経済情勢の変化や、国県の制度・施策を注視し、地域の実態把握や課題の明確化に努めます。これまで実施した施策の点検評価を行い、本市の目指す都市像や基本方針について、市民の皆さんと一緒につくり上げたいと考えています。

### (二) 行財政改革の推進

23年度から27年度までを期間とする第一次・第二次行財政改革大綱と現実的計画に基づき行財政改革に取り組みました。その結果、行財政全般の改善が進み、市民と行政との協働による事業の推進や、コミュニティの活性化に向けた環境づくりも図られてきました。人口減少の進行など今後の厳しい社会情勢を展望すれば、行財政改革に対する不断の取り組みが必要です。そのため28年度から32年度までを期間とする行財政改革推進プランを策定し、引き続き全庁を挙げて行財政改革を進めます。

# 平成29年度予算総額 1,354億8,728万円

# 会計別内訳

( )内は対前年度当初予算比

▷一般会計	687億9,200万円	(5.3%)
▷特別会計	327億6,871万6千円	(1.1%)
国民健康保険	147億4,680万8千円	(▲1.8%)
後期高齢者医療保険	15億1,803万5千円	(4.6%)
介護保険	164億3,164万2千円	(3.5%)
休日夜間診療所	6,281万1千円	(▲0.8%)
墓園事業	942万円	(▲4.3%)
▷企業会計	339億2,656万4千円	(▲2.8%)
病院事業	162億5,098万2千円	(▲1.8%)
水道事業	48億8,490万8千円	(▲1.8%)
下水道事業	127億9,067万4千円	(▲4.4%)

- ・一般会計…市の基礎的な行政サービスを行うための会計。市税や地方交付税などを主な財源とし、市の会計の中心となる
- ・特別会計…特定の事業を行うために、特定の収入をもって行う会計。一般会計とは経理を別にし、本市では5つの特別会計を設けている
- ・企業会計…事業収益によって運営経費を賄う会計。地方公共団体が経営する企業は地方公営企業とされ、本市では3つの企業会計を設けている



## 二 予算の概要

新しい制度や組織への移行の際は、市民の皆さんに不便を来さないことはもちろんのこと、公平性を保ち、効率的な行政運営を常に心掛け、市民の負託に応えられるよう努力します。

平成29年度予算の会計別の大枠や、市の会計の中心となる一般会計の歳入・歳出の概要を説明します。

一般会計当初予算の総額は、687億9,200万円で、前年度当初予算と比較し34億9,200万円(5.3%)の増で、過去最高額となった28年度予算額を上回ります。

特別会計は、5会計の合計で、対前年度3億4,581万3千円増の327億6,871万6千円です。個別にみると、国民健康保険特別会計は、保険財政共同安定化事業拠出金の減額などで減少していますが、後期高齢者医療保険特別会計と介護保険特別会計は保険需要の増大に伴い増加傾向が続いています。

企業会計のうち病院事業会計は、医療機器整備費の減額などで対前年度2億9,613万円減の162億5,098万2千円です。水道事業会計は、建設改良事業費の減額などで対前年度8,862万5千円減の48億8,490万8千円です。下水道事業会計は、建設改良事業費の減額などで対前年度5億9,263万円減の127億9,067万4千円です。

067万4千円です。

### (一) 一般会計 歳入

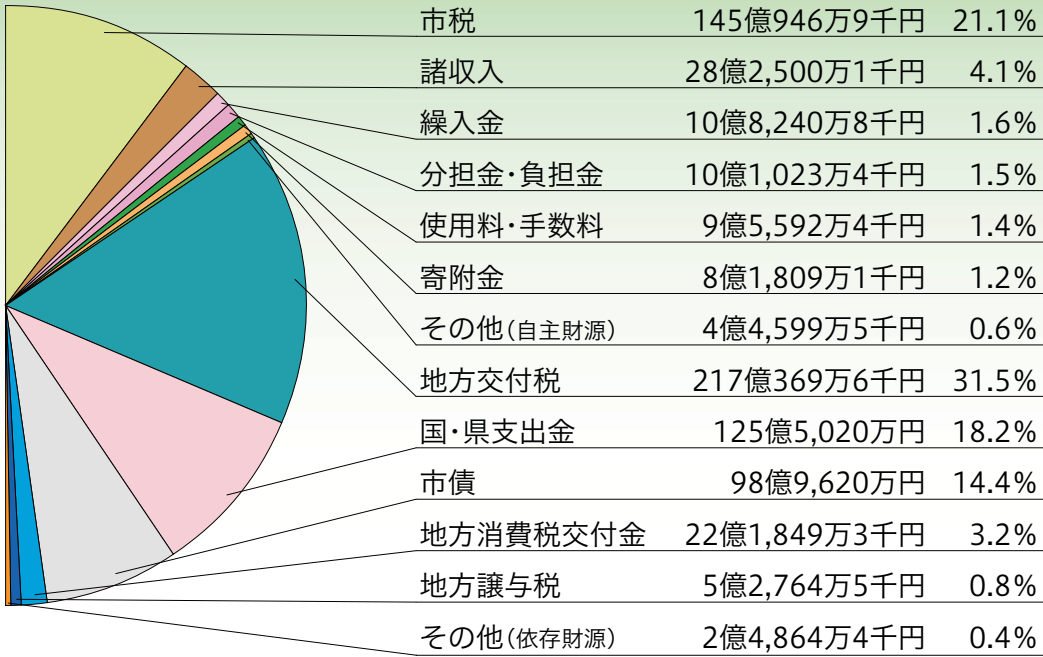
市税について、市民税は給与所得の源泉所得税の減額などで減収を見込みます。固定資産税は、地価の下落傾向がある一方で、償却資産について大手企業の積極的な設備投資があったことから増収を見込み、対前年度2億525万2千円増の145億946万9千円としました。

地方消費税交付金は、国の交付見通しを踏まえ、対前年度1億3,721万9千円減の22億1,849万3千円としました。

地方交付税は、国の地方財政対策による交付税の減額や合併特例期間の終了に伴う段階的縮減の影響等によって、対前年度4億9,718万2千円減の217億369万6千円を計上します。また、実質的な交付税として後年度にその全額が地方交付税に算入される臨時財政対策債は、対前年度1億1,790万円増の20億1,990万円を見込みました。

分担金及び負担金は、保育所入所者負担金の状況などによって、対前年度4,376万6千円減の10億1,023万4千円、使用料及び手数料は、対前年度1,779万7千円減の9億5,592万4千円としました。

国庫支出金は、学校施設環境改善交付金や臨時福祉給付金の事業費補助金



**自主財源**…31.5%  
市税や諸収入、負担金や使用料、基金からの繰入金などの自主的な収入

**依存財源**…68.5%  
地方交付税や国庫支出金、県支出金のように、国や県から定められた額を交付されたり割り当てられたりする収入

- ・市税、地方交付税、国・県支出金、市債…6ページの用語解説参照
- ・繰入金…特定の事業のために積み立てたお金（基金）などから繰り入れるお金
- ・分担金・負担金…特定の利益を受けた人から負担してもらうお金
- ・地方消費税交付金…消費税の一部が人口と従業員数に応じて交付されるお金
- ・地方譲与税…国が徴収した自動車重量税などから配分されるお金

人件費は、事務事業や組織機構の見直しによる定員の適正化に努め、対前年度1・6%減の109億6,566万7千円となっています。  
物件費は、臨時福祉給付金事業の振込手数料や燃料費、光熱水費の減額などによって対前年度0・5%減の83億1,524万7千円となりました。  
維持補修費は、対前年度2・4%増

(二) 一般会計 歳出

の減額などによって、対前年度2億1,073万円減の71億9,084万7千円を計上し、県支出金は、農地集積協力金交付事業補助金や参議院議員通常選挙委託金の減額などによって、対前年度528万3千円減の53億5,935万3千円となりました。  
寄附金は、鶴岡ふるさと寄附金の大幅な増額を見込み、対前年度4億5,300万6千円増の8億1,809万1千円としています。繰入金は、財政調整基金を繰り入れたことにより、対前年度7億7,969万円増の10億8,240万8千円となりました。  
市債は、新文化会館整備や養護老人ホーム施設整備支援、屋内多目的運動施設整備等によって対前年度28億160万円増の98億9,620万円となりました。  
なお、29年度予算の自主財源比率は、前年度の30・8%から31・5%に上昇しています。

三 主要事業

の11億951万4千円、扶助費は自立支援給付事業や障害児支援事業の増額等によって、対前年度5・1%増の126億822万4千円となっています。  
補助費等は、大規模事業所設置助成金や鶴岡ふるさと寄附金の返礼等の増額によって、対前年度8・3%増の88億3,593万4千円となりました。  
普通建設事業は、優先度や費用対効果、整備後の維持管理経費等を精査した上で、合併新市づくりに必要な社会基盤整備や安全安心なまちづくり等に予算措置し、対前年度37・9%増の106億6,341万円となりました。  
公債費は、着実に市債残高を減額し、対前年度8,887万7千円の減となつています。  
なお、人件費・扶助費・公債費を合計した義務的経費は、前年度の47・3%から45・3%に低下しています。

(一) 鶴岡ルネサンス宣言(5つの文化都市宣言) 関連事業

総合計画実施計画の重点方針などに基つき、「鶴岡ルネサンス宣言」と「まち・ひと・しごと創生総合戦略」に沿って主要事業の概要を紹介します。

▼ 一 “地域の可能性を伸ばす” 創造文化都市宣言

食文化分野で国内唯一のユネスコ創

## 歳出に占める割合

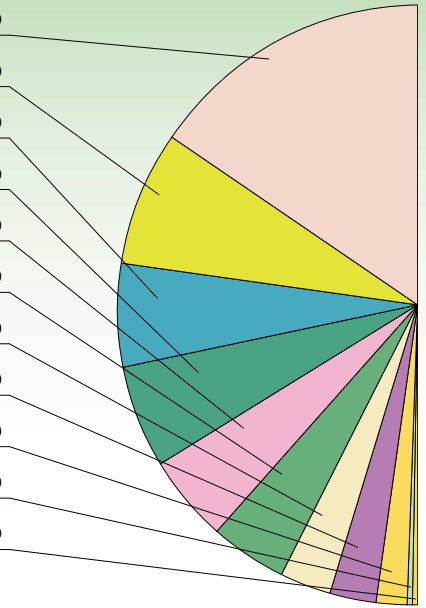
消費的経費…60.8%  
 物件費や補助費など、後年に形を残さずに消費される性質のお金

投資的経費…15.6%  
 建設事業などのように、社会資本として将来に残るものに使われる性質のお金

その他…23.6%

上記のうち  
 義務的経費…45.3%  
 人件費や扶助費、公債費のように、支出が義務付けられ、任意に節減できないお金

民生費	210億2,675万6千円	30.6%
教育費	100億5,124万3千円	14.6%
総務費	78億4,532万5千円	11.4%
公債費	76億6,928万1千円	11.1%
土木費	62億9,965万円	9.2%
衛生費	55億9,636万8千円	8.1%
農林水産業費	40億8,654万7千円	5.9%
商工費	34億7,339万2千円	5.0%
消防費	21億860万2千円	3.1%
議会費	4億659万円	0.6%
その他	2億2,824万6千円	0.4%



- ・民生費…福祉や保育などのためのお金
- ・教育費…教育などのためのお金
- ・総務費…課税・納税、職員管理などのほか、総務・企画的な業務のためのお金
- ・公債費…借金返済に充てるお金
- ・土木費…道路や橋の建設などのためのお金
- ・衛生費…健康増進やごみ処理などのためのお金
- ・農林水産業費…農林水産業の振興のためのお金
- ・商工費…商工業や観光の振興のためのお金
- ・消防費…消防や救急、救助活動などのためのお金
- ・議会費…市議会の運営のためのお金

造都市ネットワーク加盟都市であり、また食と農の景勝地であることを積極的にアピールし、食文化創造都市としての高度ブランド化と観光や農林水産業などの成長産業化、さらにはインバウンド（訪日外国人旅行）を含む交流人口の拡大に取り組みます。

具体的には、イタリア食科学大学などとの連携による高度な情報発信、食文化資源を活用した食文化体験ツアーの開催、食と風土の祭典の開催に向けた計画策定等を行います。

本市農産物の海外への販売促進では、外務省がロサンゼルスに設置するジャパン・ハウスで、本市の農産物を出展する取り組みに支援するとともに、香港市場でマーケティング調査を行う等、本市農産物の輸出状況を把握しながら、今後の事業展開を推進します。

愛称が「タクト鶴岡」に決定した文化会館の整備では、8月末の竣工に向けて屋根や外装、内装の仕上げ工事やサイン、ユニット家具の設置、外構の工事等を行います。竣工から来年3月のグランドオープンまでの期間、市民向けの内覧会を開催するとともに、竣工記念式典や市制施行記念式典、市全体での成人式を計画します。また、避難訓練を兼ねたコンサートや試験供用を行い、使い勝手などを検証しながら万全の体制で準備を進めます。

松ヶ岡開墾場については、歴史遺産として適切に保存し活用する計画を策定します。本市近代化の礎となった絹

織物産業についても、キビソを活用した新製品開発や販売促進、シルクガールズのファッションショー、蚕の飼育体験を通じたPR活動等、地域の活性化とともにその文化を後世に保存伝承します。

中心市街地活性化では、地方創生推進交付金を活用し、旧コミュニティプラザ「セントル」を新たな「まちづくりセンター」としてリニューアルします。その運営を地元商店街の若い皆さんに担っていただき、中心市街地のにぎわいづくりや人材育成等に取り組みます。

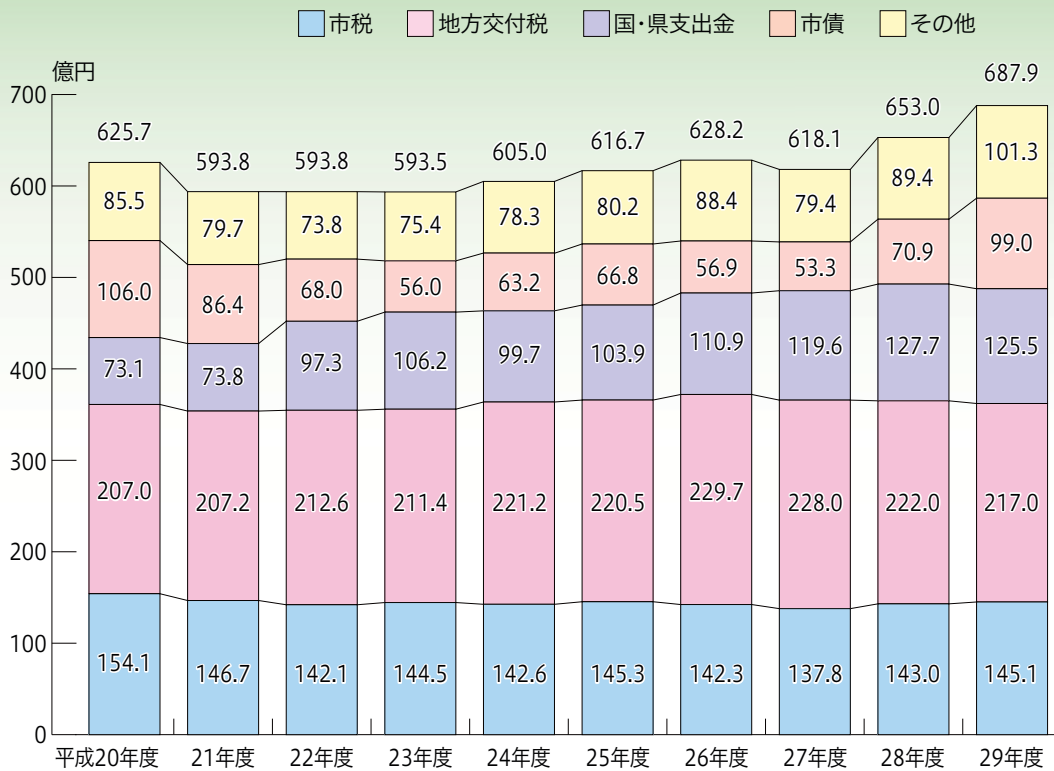
近年の外国人観光客の増加や2020年に開催される東京オリンピック・パラリンピックも見据えながら、国際観光の推進に力を入れます。

具体的には、鶴岡駅構内の観光案内所をマリカ東館1階に移転し、外国人向けパンフレットの配布や外国人対応スタッフの常駐等、認定外国人観光案内所としての機能充実を図ります。また、外国人青年を招致し国際交流などを推進するJET（語学指導等を行う外国青年招致事業）プログラムに基づく国際交流員の任用、新潟市と連携した海外へのプロモーション活動や情報発信への支援等に取り組みます。

食文化創造都市の推進を図るため、マリカ東館1階を本市の「食文化情報

▼二〇二〇年と入の繋がりから交流人口を拡大する  
**観光文化都市宣言**

# 一般会計歳入の構成別推移



- ・市税…市民が市に納める税金（市民税、固定資産税、軽自動車税、市たばこ税、入湯税、都市計画税など）
- ・地方交付税…所得税など国が徴収した税金の中から市の財政状況に応じて交付されるお金
- ・国・県支出金…特定の事務・事業についての財源として、国や県から交付されるお金
- ・市債…建設事業や財政対策などを行うために金融機関などから借り入れるお金

発信拠点」として整備するほか、民間事業者による鶴岡の郷土料理や食材を提供する飲食店等もオープンする予定で、玄関口である鶴岡駅前のにぎわいづくりに官民一体となって取り組みます。

観光地域づくりの組織体制の構築では、ユネスコ食文化創造都市や食と農の景勝地認定等を生かした観光地域づくりを推進するため、鶴岡型DMO（観光地域づくりを持続的・戦略的に推進・けん引する専門組織）設立に向けた鶴岡市観光連盟の取り組みを支援します。

宿坊街の魅力向上とにぎわいの創出では、手向地区の宿坊街で統一感のある景観形成を図るため、住民が行う修景整備を支援するとともに、景観に配慮した公共空間整備や町並み景観保全活動を支援し、観光資源の磨き上げを行います。

本市観光施設の拠点である加茂水族館には、県内外の多くの方々を訪れています。エントランスの雨よけ・風よけ対策を講じ、来館者の更なる利便性の向上を図ります。

高速交通体系の整備促進では、日本海沿岸東北自動車道の県境区間の整備に向けた要望活動を精力的に実施するとともに、鼠ヶ関地区のインターチェンジ周辺休憩施設の整備に取り組みます。

鉄道関係では、新潟駅での新幹線と羽越本線の同一ホーム乗り換え事業が平成30年度の供用開始に向けて順調に

進んでいます。これを機に更なる時間短縮と利便性の向上が図られるよう関係機関などに要望活動を行います。

また、羽越新幹線の整備実現に向けて県や隣県とも連携しながら、山形県庄内地区羽越新幹線整備実現同盟会の活動を活性化していきます。

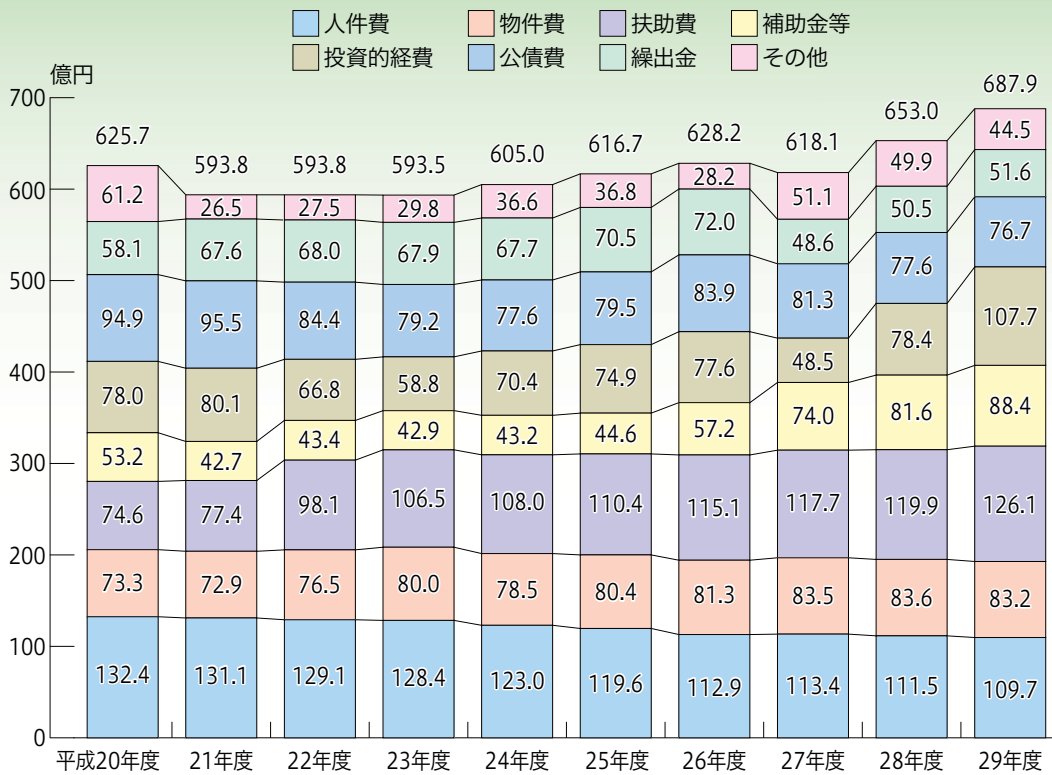
庄内空港については、市民の翼を催行し空港利用の促進に努めたほか、庄内空港利用振興協議会を中心として機材の大型化の要望等に努めました。その結果、28年夏に中型機が最大3往復導入され、利用者数が対前年度4・4%増の約38万人となりました。29年度も同協議会へ支援し、更なる利用促進に取り組みます。

▼「三ッ知」を活かす  
学術文化都市宣言

先端バイオを核とした高度な産業集積の促進に加え、本市にある4つの高等教育機関での研究や地域貢献活動を支援するとともに、相互連携を一層図ります。また、鶴岡みらい健康調査や高校生バイオサミット等に取り組みほか、今後の企業や研究機関の進出に対応するため、サイエンスパークの拡張も見据えた新たな全体構想の策定に着手します。

地方創生の一環として政府関係機関の地方移転が進められており、本市では国立がん研究センターを中心とする連携研究拠点が設置されることになりました。慶應義塾大学先端生命科学研

# 一般会計歳出の構成別推移



- ・人件費…職員の給料、議員や委員の報酬など
- ・物件費…消耗品や備品の購入費用、光熱水費、施設の管理委託料など
- ・扶助費…生活保護費や保育園の委託料、乳児や重度身体障害者への医療給付費など福祉のためのお金
- ・補助費等…各種団体や病院・水道事業に対する負担金や補助金など
- ・投資的経費…道路、橋、学校など公共施設の建設経費
- ・公債費…借金の返済に充てるお金
- ・繰出金…介護保険などの給付費や下水道事業などに対して、一般会計から負担するお金

研究所や庄内地域産業振興センター、県等の関係機関と連携しながら、がんの診断薬や解析技術等の開発を目指す取り組みを推進します。

この取り組みを通して、新たなベンチャー企業や製薬会社等の関連企業が集積し、将来の雇用の受け皿になるなど、地域経済への波及効果が期待されます。

## ▼四 暮らし環境を整える“安心文化都市宣言”

がん検診の受診率向上に向けて、日曜日がん検診や平日夕方のサンセット乳がん検診を行います。また、新たな胃がん対策として中学生の健診時に胃がんの原因とされるピロリ菌検査を実施し、除菌を支援します。健診機会の拡大やがんの早期対策を通し、市民の健康づくりに取り組みます。

高齢者への支援では、地域包括支援センターを拠点に相談サービスの向上と総合的な支援体制の構築に努めます。また、住民など多様な団体が参画し支え合う体制づくりを推進し、地域が主体となった介護予防・日常生活支援総合事業などを進めます。

の強化に向け、今後増加が予想される小規模自治組織などを対象に、維持や活性化を議論する研修会等を開催します。

田川コミュニティセンターについては、旧田川小学校校舎を活用した整備を行います。同様に羽黒第四地区地域活動センターも、旧羽黒第四小学校の校舎を活用した整備を行います。

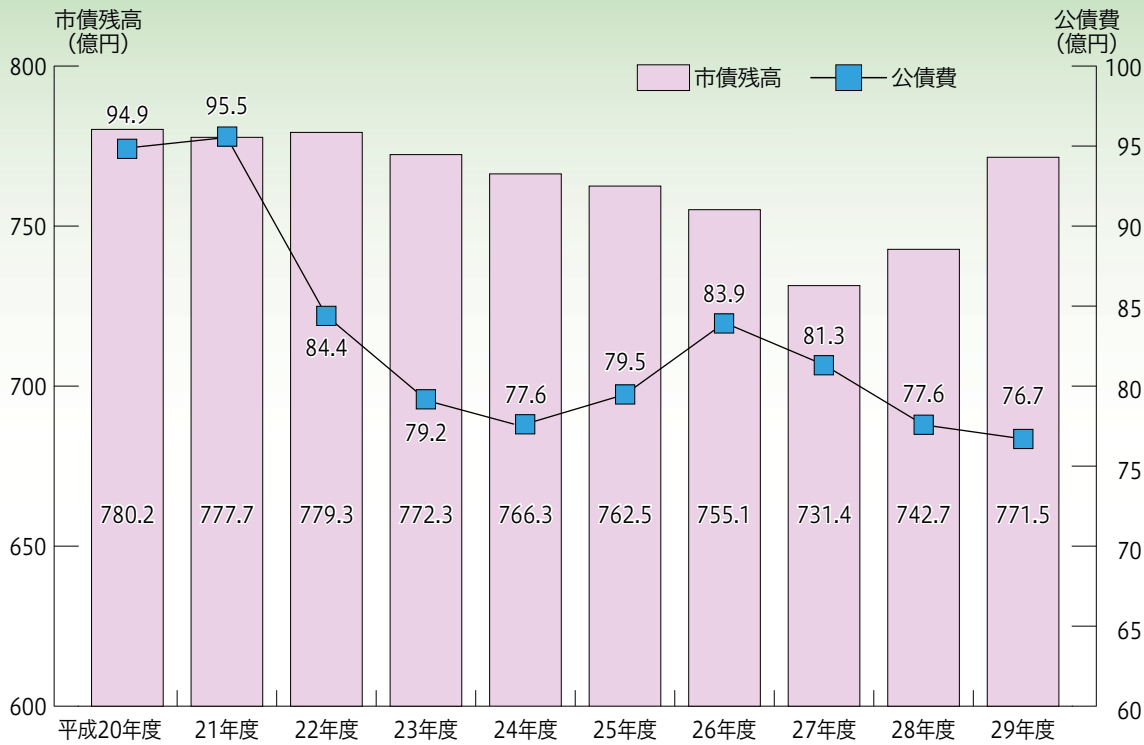
空き家対策では、空き家の管理が不十分な所有者などに対して適切な管理を促すとともに、必要に応じて条例に基づく応急措置を行います。また、老朽危険空き家については、住民の安全安心を確保するため、一定の要件で解体に要する経費を支援する制度を創設します。

交通輸送対策では、路線バスや地域住民主体の生活交通確保へ支援するほか、29年度から朝日地域の大鳥・上田沢線と田麦俣・湯殿山線の路線バスが縮減されるため、その代替措置として新たに市営バスを運行し、生活の維持に必要な移動手段を確保します。

災害に強いまちづくりの推進では、避難所などの情報を分かりやすく提供するため、土砂災害と洪水災害ハザードマップを作成するほか、自主防災組織などを対象とした図上訓練の実施、防災資機材の整備等に取り組めます。また、災害時における無人偵察機（ドローン）の活用策を検討するため、総合防災訓練で様々な場面を想定し、ドローンを用いた情報収集訓練を行います。

地域コミュニティ関係では、地域コミュニティ推進計画に基づき、広域コミュニティ組織の取り組みを支援するほか、コミュニティを次代へつないでいく意識を醸成するため、子供たちと地域の未来を考えるワークショップを開催します。また、コミュニティ組織

## 市債残高と公債費の推移



・市債残高…建設事業や財政対策などを行うために、金融機関などから借り入れたお金の残高  
 ・公債費…借金の返済に充てるお金

す。

▼五「自然と共に生きる」  
**森林文化都市宣言**

森林文化都市構想を推進するため、つるおか森の時間やつるおか森の保育等を実施します。

新たに「森林・温泉・食」を活用したウォーキングツアーを行うとともに、自然学習交流館「ほとりあ」を拠点とした自然学習や環境保全に関する市民の活動を促進します。

再生可能エネルギーの導入では、県が行う農業用水利施設を活用した小水力発電事業へ支援するとともに、水路などを活用した小水力発電設備や家庭等での再生可能エネルギー設備の導入を支援します。

過疎対策では、集落ビジョンに基づく活動支援への評価検証を踏まえ、効果的な集落対策を講じるとともに、福栄地区への地域おこし協力隊の配置や、朝日・温海地域への集落支援員の配置等、集落の維持再生に向けた取り組みを支援します。

### (二) 地域の特性を生かした振興

地域振興ビジョンに基づく各地域の活性化事業については、市町村合併の理念である多様性の発揮を実現するため、地域の特性を生かした事業を展開するとともに、地域間連携の視点での取り組み等、各地域庁舎を中心に特色

ある取り組みを進めます。

### (三) 市民・地域・行政の協調・協力

鶴岡ルネサンス宣言の行動戦略の基礎となる、市民・地域・行政の協調・協力による総合力の発揮については、鶴岡パートナーズや車座ミーティング、いきいきまちづくり事業、鶴岡まちづくり塾等、市民主体の様々なまちづくり活動を支援します。

ふるさと寄附金事業では、本市の物産や観光をPRするため、返礼品を更に充実させながら事業を推進します。

### (四) 鶴岡市まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進(4つの基本目標)

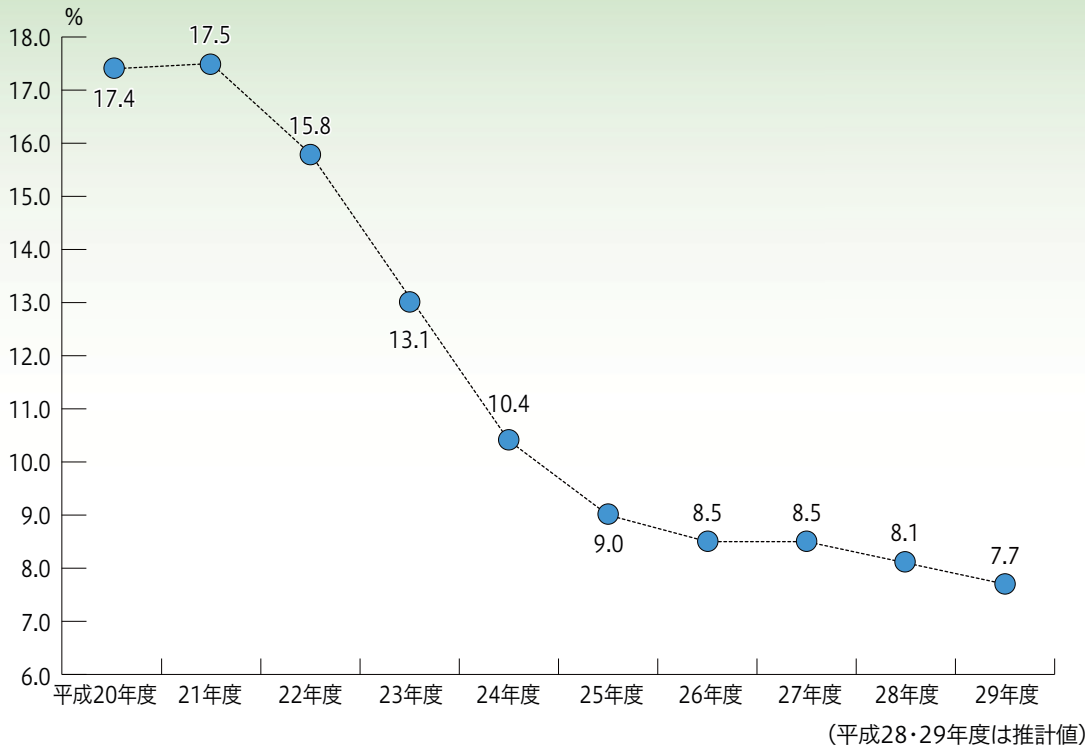
#### ▼一 地域にしごとを増やし、安心して働けるようにする

食文化関連事業では、イタリア食料学大学との戦略的連携協定に基づく事業を、地方創生推進交付金を活用し実施します。これは、同大学の大学院生や山形大学農学部とともに鶴岡の食文化の魅力の世界視野で発掘する取り組みで、現地調査や学びの場づくり、国際会議を実施し、食文化、観光関連の新たな産業創造を目指します。あわせて、昭和女子大学のプロジェクト型インターンシップを活用し、同大学から鶴岡の食文化を素材とした新商品の開発やツアーリズムモデルコースの提案を受ける取り組み等を実施します。



# 実質公債費比率の状況

・実質公債費比率…公債費や公営企業への繰出金などを含めた実質的な公債費相当額が、標準財政規模に占める割合を、3か年平均で表した指標。この比率が18%以上になると市債の発行には県の許可が必要となり、25%以上になると、一定の市債の発行が制限される



企業立地の促進では、企業の立地誘導や設備投資、本市への本社機能の移転や支店等の開設を促すための助成を行うとともに、中央工業団地での工業用水の需要の高まりに対応し、供給能力の増強を図ります。

また、地域の金融機関などと共同で、地域資源や技術等を活用して展開するビジネスプランコンテストについて、28年度の内容テストで採択されたビジネスアイデアやプランを対象に、事業化に向けた支援を行います。

地域内企業への支援では、中小企業などが行う新製品開発や販路開拓、技術力向上の取り組み等を支援するほか、庄内地域産業振興センターが行う経営セミナー事業や職業能力開発講座、地域企業の自発的な業務改善活動を支援します。

農林水産業の成長産業化では、地理的表示保護制度や農業生産行程管理認証等、農業者団体などが行う特産品の高付加価値化や競争力強化を支援するとともに、つるおか農商工観連携総合推進協議会が行う新たな地域ビジネスの展開と鶴岡ツーリズムの推進を支援します。また、林業関係では、温海地域の中山間地域で農林産物栽培と林業とを組み合わせた経営モデルづくりを支援します。

## ▼二 地域への新しいひとの流れをつくる

移住希望者の総合的な相談窓口とし

て、移住コーディネーターを配置するとともに、各種フェアや移住プロモーション動画等、多様な方法で効果的に情報発信します。また、移住希望者を対象に「お試し住宅」を提供し、家賃助成等を行います。新たに本市へのU・I・Jターン就職に関心のある首都圏在住者などを対象に、本市の企業関係者と情報交換の場を提供する「鶴岡しごと体感ツアー」を実施します。

地域資源活用体験交流推進事業では、本市の先端科学や豊かな自然、歴史、文化等の地域資源を活用し、教育に関心の高い首都圏などの親子を対象としたツアーを開催し、交流拡大を図ります。あわせて、交流拡大などのプログラムを企画、運営するコーディネーターを育成します。

市営住宅を有効活用するため、高齢者に敬遠されがちな上層階の空室を改修し移住者にお試し住宅として提供します。

大学などを卒業した若者の地元回帰を促進するため、県と協調し奨学金の返還支援を行うとともに、若者の意向把握や地元就職への働き掛け、首都圏での地元就職セミナーや、女性を対象とした仙台での同セミナーを実施します。

## ▼三 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる

母子保健コーディネーターや妊産婦支援員を配置し相談支援体制を強化し

# 平成29年度の主な取り組み



◁食文化創造都市推進事業・食文化産業創造推進事業  
「世界の食文化創造都市」であることを国内外に強力にアピールし、農林水産業・観光等の成長産業化や地域の活性化に向け食文化を活用した事業に取り組みます。また、健康・生活・カルチャー・デザイン等に関わる新しい食文化産業を創出するため、フードデザイン国際カンファレンスや食のフィールド・スタディツアーの開催、大学生プロジェクト型協働インターンシッププログラムの実施等を支援します。《写真…イタリア食科学大学の鶴岡フィールド・スタディツアー》

## ▷文化会館整備事業・文化会館管理運営事業

8月末竣工予定の文化会館。市民向け内覧会を開催するとともに試験供用等を行い、30年3月のグランドオープンに向け準備を進めます。《写真…音響を重視した客席形状》



## ◁がんメタボローム研究推進事業

国立がん研究センターを中心とする連携研究拠点で、慶應先端研や庄内地域産業振興センター、県等の関係機関が連携し、がんメタボローム研究活動を推進します。《写真…慶應義塾大学先端生命科学研究所、鶴岡市先端研究産業支援センター、Spiber(株)本社研究棟》

ます。支援が必要な妊産婦に対して訪問を通じた保健指導や、乳児への虐待を未然に防止する対策として、家族などから産後の援助が受けられない母子を対象に、日帰り施設での養育指導を実施する等、産前産後のサポートを充実します。また、特定不妊治療費を助成します。

子育て世帯の負担軽減では、第3子以降の保育料を無料化するとともに、中学3年生までの医療費自己負担額の完全無料化も行います。

子育て支援では、子ども家庭支援センターを拠点に、先輩ママによる支援の強化や、父親が育児参加する機会づくりに取り組みます。子供のための屋内遊戯施設については、民間事業者の整備計画が具体化しつつあるため、こうした動きと連携しながら整備を支援する等、実現に向け取り組みます。

婚活支援では、つるおか婚シェルジュによる結婚を後押しする活動を支援します。

▼四 時代に合った地域をつくり、安心な暮らしを守る

コンパクトシティの形成に向け、銀座通りや内川沿いエリアでの民間主導によるまちなか居住整備を推進するため、民間事業者などを対象とした相談会や検討会を開催するほか、駅前商業施設跡地の需要調査に基づく整備を検討します。あわせて、空き店舗、空き家等の遊休不動産を活用し価値を高め

るリノベーション事業に取り組み、若者層を主体とした人材育成や事業創出を図ります。

集落生活圏の維持に向けた小さな拠点の形成では、大網地区をモデルに、試行的に地域内交通や買い物支援に取り組むとともに、旧大網小学校の活用を検討します。

## 四 各種施策の概要

これまで紹介した事業以外の重要施策などについて、鶴岡市総合計画の施策の大綱(6分野)に沿って紹介します。

(一) 市民生活分野

- 地域防災体制の強化 移動系の防災行政無線について、国の規則改正に伴い現在のアナログ式無線機器などが平成34年12月以降使用できなくなるため、無線機器等のデジタル化を進めます。
- 消防救急体制の強化 車両の整備や消防施設の新営改良、救急救命士の養成等に取り組みます。
- 自然や生態系の保全 生物多様性地域戦略を新たに策定し、庄内自然博物館構想や森林文化都市構想の各種事業等を体系的に整理します。
- 新しいごみ焼却施設の整備 用地測量や整備・運営事業者を選定するための準備作業等を実施しており、33年度の供用開始を目指し、着実に整備を進めます。



#### ◁特産物販売促進支援事業

本市農産物や農産加工品等の普及と消費拡大のためトップセールスを実施するとともに、首都圏で開催される展示商談会、観光物産展等への出展、海外への販路拡大を支援します。また、本市で開催される「第3回全国メロンサミット」を通して、メロン産地間で情報交換を行うとともに本市メロンの魅力を発信します。《写真…大田市場での市長トップセールス》

#### ▷「小さな拠点」づくり推進事業

過疎地域における生活機能の集約と生活交通の確保を図りながら、住民や地域団体が中心となって行う安心して暮らせる生活基盤の維持・強化に向けた取り組みを支援します。《写真…小さな拠点づくりワーキング》



#### ◁交通輸送対策事業

路線バス、藤島地域のデマンド交通（利用者がある場合のみ運行する仕組み）、西郷地区のボランティア輸送に対する支援や羽黒・朝日地域の市営バスの運行等、市民の生活交通を確保する取り組みを進めます。

○一般廃棄物の最終処分場の整備 現在使用している岡山地区の最終処分場は稼働して二十年が経ち、数年以内で埋め立て量が満杯となる見込みのため、新たな処分場の整備を進めていきます。

### (二) 健康福祉分野

○出産・子育て 子ども・子育てで支援新制度に基づき、関係事業者への支援を充実するとともに、子供たちの健全な成長のための各種事業を、家庭、事業者、地域と連携して実施します。

○老朽化が課題の南部保育園の改築整備について、31年度開園に向けて着手します。

○健康づくり 総合保健福祉センターを拠点に、健康、医療、福祉の総合力が一層発揮されるよう、健康教育・相談事業を行います。

○28年度に策定した歯科口腔保健行動計画に基づき、歯周疾患検診受診状況調査などを実施します。

○地域福祉 福祉アドバイザーの設置や地域福祉リーダーの育成を通して、住民協働による福祉コミュニティの構築を図ります。

○低所得者福祉 生活困窮者自立支援法に基づき、相談支援体制を強化するとともに、生活保護に至る前段階での自立支援の強化を図ります。

○障害者福祉 障害者差別解消法に基づいた合理的配慮に対応するため、市の窓口対応に万全を期すとともに、障

害者優先調達に関する周知を強化します。また、次期障害者計画及び障害福祉計画の策定のため、必要な基礎調査を実施します。

○高齢者福祉 市民への啓発や事業所に対する各種研修等を通して介護保険法の理念や制度等を周知し、公平公正なサービスを確保するとともに、制度への信頼性を高めながら介護給付の適正化に取り組みます。また、各種実態調査や意見聴取等を行い、第7期介護保険事業計画及び高齢者福祉計画を策定します。

○認知症対策では、医療機関や地域の支援機関とのつなぎ役となる認知症地域支援推進員を中心に、認知症高齢者とその家族を支える仕組みづくりを進めます。

○医療提供体制の充実 荘内病院では、基幹病院として高度で良質な医療の提供に努めるとともに、修学資金制度などによる医師確保対策、高度医療機器等の計画的な整備を進めます。また、南庄内緩和ケア推進協議会の活動を通じて、がん患者やその家族のサポート体制の充実を図ります。

### (三) 教育文化分野

○学校教育 地元の児童生徒が地域への理解を深め、愛着を育む観点から、小学生が鶴岡の良さに触れ、地域を学ぶ機会として、『親子で楽しむ庄内論語』の活用や小学校スキー教室を行い

# 各地域の 取り組み



△松ヶ岡地域振興ビジョン推進支援事業  
(雪灯籠まつり)

松ヶ岡開墾場を活用した地域住民や事業者の取り組みを支援し、地域の魅力をPRします。《写真…松ヶ岡開墾場のライトアップ》



△藤島歴史公園の観光拠点化・魅力アップ促進事業

愛称が「Hisu花（歴史と藤の花にあふれるコートピア）」に決定した同公園の魅力を創出するため、イルミネーションや花美化活動等を市民協働で行います。《写真…藤棚のイルミネーション》

ます。また、新聞を生きた教材として活用し、郷土に対する愛着や関心を深める取り組みを試行します。

就学扶助では、準要保護児童などへの新入学用品費の支給時期について、これまで入学後の支給を入学前に前倒して支給できるよう改善します。

学習環境を充実するため、国が指定する英語教育強化地域拠点としての取り組みなどを通して、小学生からの英語教育の充実を図ります。外国籍子女などが安心して学べる環境を整備するため、国際学級設置に向けた調査研究に取り組みます。

学校の適正配置では、京田小学校と栄小学校、藤島小学校と長沼小学校及び羽黒第一小学校と羽黒第二小学校の統合に伴う所要の経費を予算措置します。

学校施設関係では、鶴岡第三中学校の改築について、30年度2学期の開校に向け、万全を期して整備を進めます。また、老朽化が進んでいる大山小学校の体育館と鶴岡第四中学校の暖房設備を改修するほか、学校施設の安全性と適切な学習環境を確保するため、所要の整備改修を行います。

○文化 藤沢周平記念館では、藤沢周平氏没後20年特別企画展を開催するとともに、29年は生誕90年を迎えることから、その特別企画展を開催します。

図書館では、特別な支援を要する子供たちのための図書などを購入して学校に貸し出す等、子ども読書活動推進

計画に基づく取り組みを進めるほか、著名な作家を招き小説を学ぶ講座等を開催します。

市民の芸術活動の環境づくりでは、鶴岡アートフォーラムを拠点として市民の創作活動の活発化に努めるほか、芸術文化協会と連携し本市の芸術文化の振興に努めます。

歴史的文化資源の保存継承では、国指定名勝である金峯山の保存活用計画を29年度に策定する予定で、同計画に基づき、地元団体とともに適切な保存活用を図ります。

30年度に明治維新150年の節目を迎えることから、記念事業の開催に向けた取り組みを行います。

○スポーツ テニスやフットサル等で利用できる屋内多目的運動施設の整備に着手するため、用地取得や地質調査等を実施するとともに、老朽化が進む小真木原総合体育館のエレベーター等の改修を行います。また、本市ほか県内2市で開催される南東北インターハインのバドミントン競技の開催を支援するとともに、東京オリンピック・パラリンピック開催に合わせたホストタウン推進事業としてドイツ、モルドバとの交流や事前合宿などの誘致に取り組めます。

## (四) 農林水産分野

○担い手育成 山形大学農学部を中心とした地域の関係機関や企業等による

地域定住農業者育成コンソーシアムを核に、総合的な人材育成を支援します。経営体育成支援事業などの補助事業を活用して機械や施設等の整備補助を行うとともに、青年就農給付金による支援や担い手への農地集積・集約等を支援します。

○地域特性を生かした農業振興 水田を有効利用した畑作物の生産振興や園芸特産物の産地形成を図るための支援のほか、本市の貴重な資源である在来作物の生産と販路拡大のための支援を行います。また、本市で開催予定の第3回全国メロンサミットの取り組みを支援します。

○環境保全型農業 鶴岡市環境保全型農業推進計画に基づき、全市的な取り組みを促進し、農産物認定認証事業を推進します。

○中山間地農業 直接支払交付金事業を推進するほか、鳥獣被害防止のための捕獲業務などの対策実施隊の運営や対策協議会への支援等を行います。

○畜産関係 優良牛などの導入確保を推進し、畜産農家の経営安定に向けた支援を行うとともに、耕畜連携を推進します。

○農業基盤維持・整備 多面的機能支払活動支援事業を通じて地域での維持管理活動を支援するほか、水田畑地化基盤強化対策事業、県営基幹水利ストックマネジメント事業、県営経営体育成基盤整備事業、農村地域防災減災事業等を促進します。



### △あつみ体験旅行推進事業

農村・漁村地域の豊かな自然や文化を活用した体験メニューの磨き上げや掘り起こし、関連団体間の連携強化などに取り組み、体験型旅行誘致による地域振興を図ります。《写真…山五十川の能&歌舞伎体験》



### △地域農産物生産出荷促進事業

産直が主体となり、朝日地域の山間部集落から農林産物を集荷し、市街地での移動販売を行います。《写真…南銀座通りで実施した移動販売》



### △能楽青年交流事業

首都圏から大学の能楽研究会の合宿を誘致し、黒川能役者との交流や本市の魅力発信を行う事業を支援します。《写真…法政大学能楽研究会黒川合宿》

○中心市街地活性化 街中のにぎわいづくりを進める中心商店街や各種団体が連携するイベント開催や空き店舗活用等に取り組みTMO事業を支援します。

### (五) 商工観光分野

○林業 念珠関線、大坂山天狗森線をはじめとする林道や作業道等の路網整備のほか、森林組合などによる間伐や森林整備の活動支援、急速に被害が拡大している松くい虫対策等を実施します。

○水産業 新たに独立経営を行う漁業者へ漁船取得費用などを助成するほか、県漁協が行う村山地区などの内陸部への販路拡大の取り組みを支援する等、地元水産物の消費拡大に向けた事業を進めます。油戸海岸の消波ブロックの改良工事や大岩川漁港の防波堤の整備、県への事業費負担による由良漁港などの整備を行います。

クロダイが市の魚に制定されたことを踏まえ、そのPRと交流人口の拡大を目的に開催する全国クロダイ釣り大会の取り組みを支援します。

○テーマ型・体験型観光の充実 鶴岡食文化創造都市推進協議会、つるおか農工商観連携総合推進協議会、鶴岡市観光連盟や各観光協会等が実施する各種取り組みを支援します。効果的に観光情報を発信するため、鶴岡ふるさと観光大使による情報発信や英語版も含めたホームページの活用、鶴岡観光プラザでの観光案内、伝統工芸品の紹介等に取り組みます。

### (六) 社会基盤分野

○都市計画 歴史的風致形成建造物に指定の建物の保全・活用に向けた改修などに支援するほか、茅原北土地区画整理事業を支援します。

○公園 本町二丁目の街区公園の整備や、公園施設の長寿命化計画に基づく遊具やトイレの改修等を行うほか、鶴岡公園の正面広場整備や桜の更新計画の策定を行います。

○道路・橋りょう 優先度や緊急度等を考慮しながら、整備や長寿命化対応を進めます。また、中心市街地区の一方通行解除に向けて、都市計画道路山王町本町線の整備などを進めます。

○住宅 地域住宅リフォーム支援事業

以上、平成29年度の予算と主要事業の概要を紹介しました。

限られた予算と人員でこれらの事業を推進し最大限の成果を上げていくためには、職員の資質向上が必須条件です。市人材育成基本方針に基づき、職員の育成に一層努力します。また、国や県をはじめ市政推進に係る動向を的確に把握するため、職員の人事交流などを通じてネットワークづくりを強化するとともに、職員が常にアンテナを高くして情報収集に努めるよう督促します。

地域の実態把握に努め、本市にとって望ましい政策、制度等について調査研究を行い、国や県へも積極的に提言し、地域の振興発展と市民サービスの向上を図られるよう努めていきます。

### むすびに

を実施するほか、市営住宅では、その適切な維持管理に努めます。

○水道事業 効率的な事業運営に努めるとともに、老朽化した水道管の耐震管への更新を計画的に推進します。

○公共下水道・集落排水事業等 未整備地区の汚水・雨水の管渠整備のほか、長寿命化計画に基づく各施設などの改築更新やアセットマネジメント(資産の管理・運用体制)構築を推進します。農業集落排水事業では、羽黒地域と櫛引地域の処理施設の統合事業に取り組みます。

# 平成29年度の主な事業

## ◆鶴岡ルネサンス宣言関連事業

### ◎創造文化都市宣言事業

食文化創造都市推進事業	3,780万6千円
食文化産業創造推進事業	4,400万円
食と風土の祭典推進事業	1,322万6千円
農商工親連携推進事業・農業6次産業化推進事業	737万8千円
特産物販売促進支援事業	1,184万4千円
鶴岡シルクタウン・プロジェクト推進事業	540万9千円
松ヶ岡地域振興事業	1,105万3千円
鶴岡まちづくりブランディング事業	2,650万9千円
文化会館整備事業	43億5,519万5千円
文化会館管理運営事業	1億6,216万8千円

### ◎観光文化都市宣言事業

観光一般事業	8,434万2千円
観光文化都市つるおか交流推進事業	1,919万1千円
国際観光推進事業	8,712万3千円
加茂水族館管理運営事業	1億117万7千円
高速交通・鉄道在来線振興事業	1,220万3千円

### ◎学術文化都市宣言事業

先端生命科学研究所支援事業	3億5,087万8千円
新産業創出地域基盤事業	4,241万3千円
先端研究産業支援センター管理運営事業	1億5,266万8千円
高等教育機関連携促進事業	443万5千円
がんメタボローム研究推進事業	1億5,367万7千円

### ◎安心文化都市宣言事業

がん検診受診率向上対策事業	768万6千円
中学生胃がん予防事業	212万6千円
各種健康診査事業	3億1,534万8千円
地域包括支援センターの体制強化	1億7,762万2千円
広域コミュニティ推進事業	3億1,327万2千円
コミュニティセンター整備事業	2億6,143万9千円
空き家対策事業	693万円
交通輸送対策事業	1億7,580万5千円
災害に強いまちづくり事業	1,890万6千円
防災行政無線整備事業	1,150万円

### ◎森林文化都市宣言事業

庄内自然博物館構想推進事業	2,073万7千円
森林文化都市構想推進事業	95万2千円
つるおか森の保育事業	182万4千円
地域住宅活性化事業	1億675万8千円
地域エネルギービジョン推進事業	552万4千円
過疎対策推進事業	1,289万1千円

## ◆まち・ひと・しごと創生総合戦略の推進

企業立地促進事業	6億9,830万6千円
地域内企業の高度化、企業活性化支援事業	3,793万5千円
地域定住農業者育成プロジェクト事業	300万円
移住・定住促進事業	792万1千円
地域資源活用体験交流推進事業	1,520万円
地元出身学生等帰郷促進事業	503万6千円
「ふるさと鶴岡を愛する子ども」育成推進事業	1,265万9千円
妊婦健康診査・家庭子育て機能育成事業	9,633万5千円
特定不妊治療費助成事業	1,110万2千円
第3子以降の保育料無料化	1億5,700万円
子育て支援医療給付事業	4億5,403万4千円
婚活支援事業	424万3千円
「小さな拠点」づくり推進事業	816万8千円

## ◆市民・地域・行政の協調、協力

鶴岡パートナーズ推進事業	300万円
ふるさと寄附金事業	5億3,318万8千円
東京事務所各種活動事業(市政報告会)	374万5千円

いきいきまちづくり事業	525万1千円
男女共同参画推進事業	57万2千円

## ◆各地域の特性を生かした振興

地域活性化事業	2,143万7千円
地域間連携事業	200万円

## ◆地方分権改革への対応と行財政改革の推進

鶴岡市総合計画進行管理事業	784万3千円
行財政改革推進事業	12万6千円
定住自立圏構想推進事業	47万3千円

## ◆分野別の事業

### ◎市民生活分野

地域コミュニティ再生事業	1,139万円
生涯学習振興事業	1億4,719万2千円
消防施設新営改良事業	5,818万2千円
ごみ焼却施設整備事業	2,385万9千円
一般廃棄物最終処分場整備事業	2億1,320万5千円

### ◎健康福祉分野

保育サービス関連事業	42億1,759万4千円
公立保育園移転改築事業	4,396万8千円
放課後児童対策関連事業	2億4,456万2千円
健康教育・相談事業	221万3千円
福祉のまちづくり総合推進事業	173万1千円
障害者施設推進事業	207万6千円
介護保険料軽減強化事業	2,150万5千円
認知症対策関連事業	435万7千円
養護老人ホーム施設整備支援事業	10億8,520万円
屋内遊戯施設整備支援事業	1億円

### ◎教育文化分野

教育指導事業(新聞活用教育研究モデル事業)	14万4千円
特別支援教育充実事業	6,978万9千円
統合学校・地域支援事業	1,469万1千円
鶴岡第三中学校改築事業	2億1,687万4千円
小・中学校大規模改修事業	1,108万円
屋内多目的運動施設整備事業	1億7,728万円
鶴岡ホストタウン推進事業	203万6千円

### ◎農林水産分野

経営体育成支援事業	6,199万6千円
中山間地域等直接支払交付金事業	2億5,650万6千円
鳥獣被害対策事業	1,309万4千円
多面的機能支払活動支援事業	9億5,526万2千円
森林病虫害等防除事業	1,457万9千円
漁港施設整備改良事業	5,013万8千円
油戸海岸保全施設改良事業	2,013万円
全国クロダイ釣り大会開催事業	100万円

### ◎商工観光分野

金融対策事業	16億4,392万1千円
産業人材育成支援事業	1,095万9千円
商店街振興対策事業	744万4千円
ビジネスプランコンテスト全国公募事業	80万円
まつり振興事業	3,458万3千円
観光文化都市つるおか交流推進事業(鶴岡型DMO育成支援事業の推進)	500万円

### ◎社会基盤分野

鶴岡市歴史的風致維持向上計画事業	4,618万9千円
鶴岡市茅原北土地区画整理事業	2億597万円
日沿道新潟県境区間IC周辺休憩施設整備事業	2,280万5千円
道路公共事業・道路新設改良事業	8億2,936万3千円
都市計画道路山王町本町線整備事業	3億7,510万3千円
除雪対策事業	6億251万7千円
市営住宅新営改良事業	7,380万円
公共下水道・集落排水・浄化槽事業	28億6,819万9千円

鶴岡市の財政・予算及びこの特集について、詳しくは本所財政課へ

☎25 - 2111内線350 ✉zaisei@city.tsuruoka.lg.jp